



〈行政の動向〉

- ・平成24年3月、『スポーツ基本計画』が策定。10年間程度を見通した基本計画を定め、平成24年度から概ね5年間に総合的かつ計画的に取り組む施策を体系化している。http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/plan/index.htm 大学体育関連項目は『第3章 今後5年間に総合的かつ計画的に取り組むべき施策』「3. 住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備」の「(4) 地域スポーツと企業・大学等との連携」にまとめられている。
- ・平成24年3月26日、中央教育審議会大学分科会大学教育部会『予測困難な時代において生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ』（審議まとめ）が出された。http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/houkoku/1319183.htm

〈文献〉

『大学体育学』第9号、3月

- ・木内敦詞ほか、大学体育授業による健康づくり介入研究のすすめ
- ・清水安夫ほか、大学体育によるソーシャルスキル変容の効果
- ・西田順一、大学生の水泳・水中運動における意思決定バランスおよび主観的環境が行動意図に及ぼす影響
- ・橋本公雄、体育実技授業における心理社会的要因を媒介変数としたメンタルヘルス改善・向上効果のモデル構築
- ・松田裕雄ほか、大学体育価値向上に向けた一考察
- ・山津幸司ほか、高強度身体活動はメンタルヘルス低下の防御因子である
- ・大槻 毅ほか、海浜実習の教育効果に関するアンケート調査研究
- ・小林勝法ほか、体育学専攻の大学院生を対象とした大学教員準備教育に関する調査
- ・平井博志ほか、大学期における課外活動の種類とライフスキルの関係

『体育・スポーツ哲学研究』第33巻2号、3月

- ・森田啓ほか、教養体育としての体育と外国語教育

『運動とスポーツの科学』Vol.17 No.1、3月

- ・生方謙ほか、大学体育におけるフラッグフットボールの楽しさとその教育的効果
- ・川俣幸一ほか、女子短期大学生の身体持久力に関する一考察

『教材学研究』第23巻、3月

- ・畑野裕子、創作ダンスの表現主題の伝達性に関する実践的検討—大学生を対象とした創作ダンス作品「道」の事例

『日本経済新聞掲載記事』

- ・連載「大学開国2」（4月18日～21日）、『教養人の育成いま再び』2012年4月19日（朝刊）

『体育科教育』5月号（大修館書店）

- ・特集「ICT活用とこれからの体育授業」

〈学会・研修会等〉

- ・大学教育学会、5月26日～27日、北海道大学
【学会初日の5月26日（土）午前9時30分より、ラウンドテーブル「学生アスリートのライフスキルと学業・学習支援」が企画されています】
- ・日本運動・スポーツ科学学会、6月16日、二松学舎大学九段キャンパス
- ・近畿支部第1回研修会、6月23日、武庫川女子大学
- ・日本体育学会、8月22日～24日、東海大学湘南キャンパス
- ・北海道支部夏季実技研修会、8月上旬（予定）
- ・大学体育指導者全国研修会、8月27日～29日、武庫川女子大学ほか
- ・日本教材学会、10月20日～21日、福山大学社会連携研究推進センター

<編集後記：3月末から4月上旬にかけて多くの大学体育関連論文・記事が発行されました。また、「スポーツ基本計画」の策定等、行政でも大学体育に関わる大きな動きがありました。北 徹朗（武蔵野美術大学身体運動文化研究室）>

ホームページからダウンロードし、体育教員控室等に掲示していただければ幸いです。

作成：大学体育関連情報調査チーム